



隠岐の島町移住定住ガイドブック ひとはな vol.2 発行：隠岐の島町地域振興課 TEL:08512-2-8570 島根県隱岐郡隱岐の島町城北町1番地 令和2年7月発行

ひとはな

隠岐の島町移住定住ガイドブック



Contents



隱岐の島町の概要

- ③ アクセス方法
 - ④ 隠岐の島町ってこんなところ
 - ⑤ 全体MAP／西郷エリア
 - ⑥ 布施エリア／中村エリア
 - ⑦ 五箇エリア／都万エリア



移住者インタビュー

- 8 隅田璃南さん（隠岐高校生、1ターン）
 - 9 岩井明人さん（ゲストハウスオーナー、1ターン）
 - 10 田中まにこさん（イラストレーター、1ターン）
 - 11 澤井藍さん（旅行会社勤務、1ターン）
 - 12 助永親彦さん（隠岐病院勤務、1ターン）
 - 13 山口宗男さん、令子さん（リタイア後移住、1ターン）



特集

- ## 14 移住女子の座談会



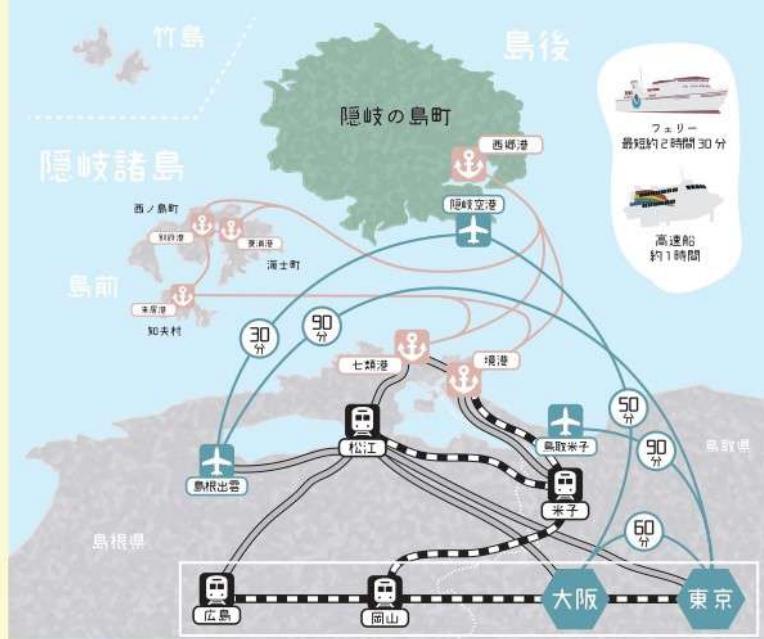
暮らしの
お役立ち情報

- 18 移住・定住支援情報
22 暮らしに役立つ～Q&A

※移住者インタビュー・特集コーナーは、2019年11月現在の情報です。

隠岐の島町の方言。
ほっと一息つくこと。少しだけ力を緩めること。

隠岐の島町へのアクセス方法

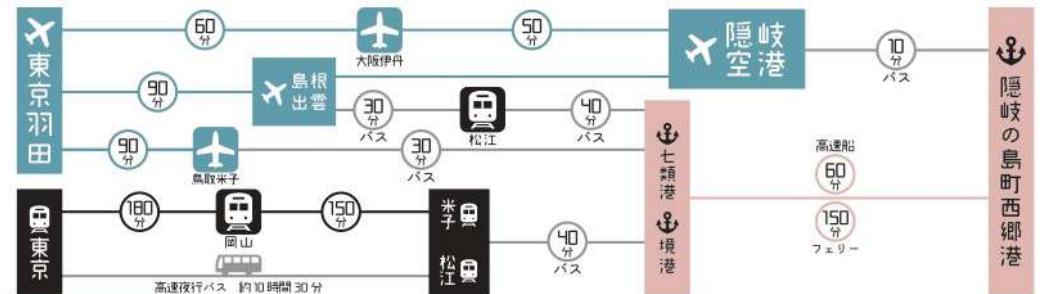


隠岐の島は
島根県の離島です

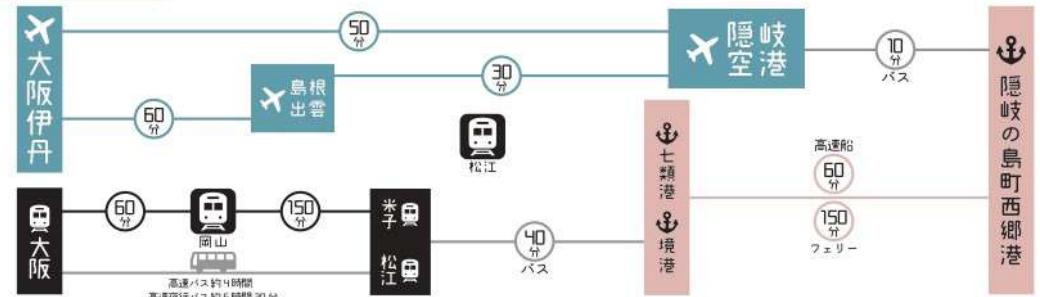


 港	 60分	所要時間
 空港		バス・道路
 駅		線路

東京から



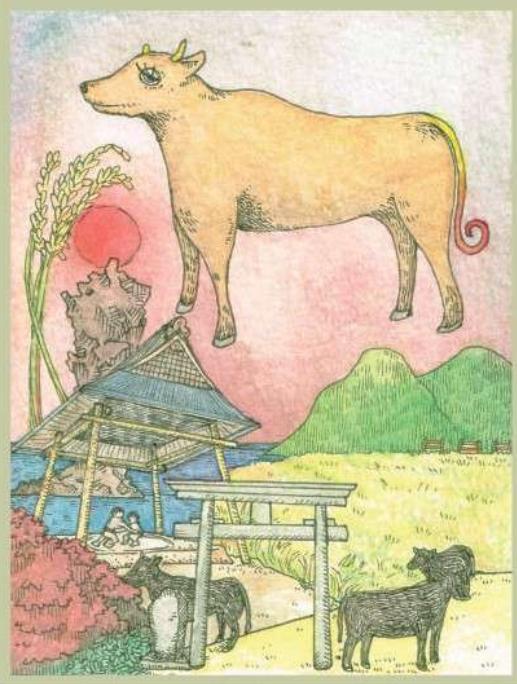
大阪から



一エリア紹介一 ふせ 布施エリア

木々と風が音色を奏でる

樹齢800年の御神木「乳房杉」をはじめ巨大杉が繁茂する天然林など、島有数の森林を有する地域です。対馬暖流の影響で、冬は温暖、夏は本土内陸部より寒冷であることにより、北方系・南方系の植物が共生する豊かな森に癒されるエリアです。



一エリア紹介一 ごか 五箇エリア

牛と人が共に歩む

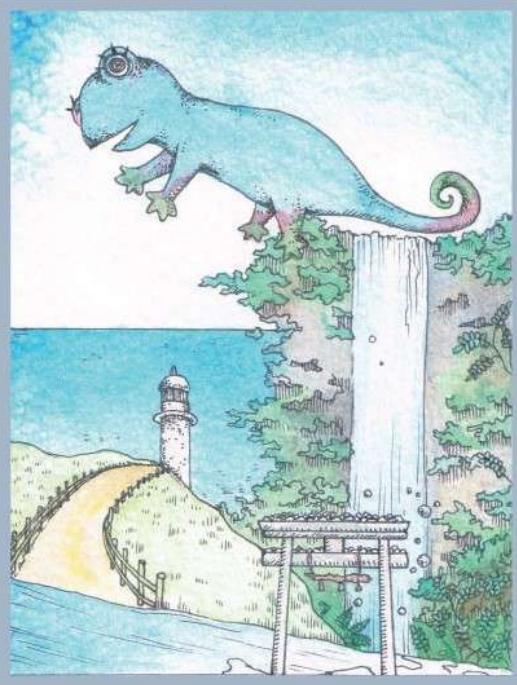
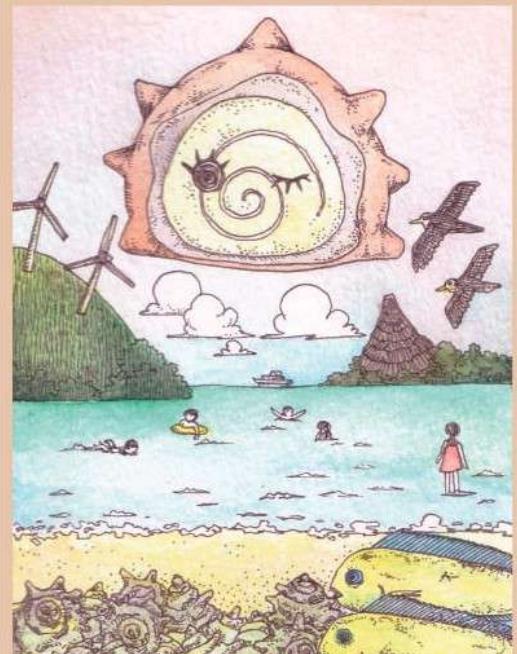
島でも有数な田園地帯が広がる五箇エリア。古来より田園の生活に欠かせなかった牛を使い、800年の歴史を誇る闘牛文化「牛突き」や「相撲」など島を代表する伝統文化が盛んなエリアです。



一エリア紹介一 なかむら 中村エリア

砂浜と海が太陽で煌めく

島で一番広い砂浜の海水浴場がある中村エリア。白島海岸に代表される風光明媚な海岸線と急峻な山岳エリアに点在する独特の自然風景と海がもたらすサザエなどの豊かな海産物が魅力のエリアです。



一エリア紹介一 つま 都万エリア

水と時がゆったり流れる

壇鏡の滝、油井の池など隠岐ユネスコ世界ジオパークを代表する水のスポットを有する都万エリア。

那久岬、油井の前の洲など雄大で美しい海をゆったりと体感できるエリアです。



移住者インタビュー
□□1

Iターン
愛知県出身
隠岐高校 3年生
移住歴 3年

Rina Sumida

自然に囲まれた島で暮らしたい、という小学校からの想いを、隠岐高校への島留学というかたちで実現。民謡や唄で多数イベントにも出演する、島で話題の女子高生です。

「私一人でも行くから」と母にお願いしました

都会の生活にどこか息苦しさを感じていたという瑠南さん。「海の側、自然の側で暮らしたかったんです。それで母に、私一人でも行くから、場所を探して、とお願いして」当時はまだ山村留学しか無く、海や島の環境が見つからず、想いを抱えたまま日々を過ごすことに。高校受験のタイミングで島留学を知り、まずは隠岐の島へ訪れてみると。この滞在で、天国と地獄を味わいました。自然環境は素晴らしいけれど、体調不良で、宿が港から遠くて必要なものがすぐ手に入らず、島暮らしの辛さを味わいました。だからこそ、それでも移住するのかという判断ができました」そして、彼女の決断はすぐでした。「親をどう説得するか、というのはあたけれど、自分の中ではもう絶対に行く、と決めていました」

何故みんな島留学しないの?と思うくらい最高!

晴れて入学をし、寮での一人暮らしを開始。休日には自転車で海に行ったり、ドライブで星を見に行ったり。「島に対しての不満なんて全く無くて、毎日が幸せでした。何故みんな島留学しないの?って思うくらい!」卒業後は夢のために島を出て進学するという瑠南さん。「家族は島に残っているので、今後は『隠岐に帰省したい』って思っています。この3年間で私にとって特別な存在の場所になりました」



↑家族と共に住んでいる布施地区のビーチ「春日の浜」

移住に興味がある方へ

Message

ポジティブで、課題も楽しめるタイプの私にはピッタリな環境でした。もしも「来たいな」と思ったならば、思い切って「え、やあ!」と飛び込んでみてください!



山中にある樹齢800年の神秘的なご神木。
20数個の巨大な鐘乳石状の乳根からその名前が付けられた。

移住者インタビュー
□□2

Iターン
神奈川県出身
ゲストハウスオーナー
岩井 明人さん (30歳)
移住歴 4年

Akihito Iwai

島の人との繋がりを活かしながら、ゲストハウス「KUSUBURU HOUSE」を立ち上げる。現在は夫婦で、地元民やバッカッパー、外国人客で賑わうこの宿を運営中。

島に住むなんてなんだかカッコイイ、いいな、と思っていたんです。笑

関東で過ごした学生時代に環境学を学んでおり、実習の為に山梨の田舎に通っていたという岩井さん。「農業に興味があり、若いうちに、米や野菜を作ることに携わっておけば、その後の人生において役に立つだろうな」と考えていたんです。農業研修をする為に、当時島に住んでいた友人を頼って隠岐にやってきました。当時はまだ25歳で、離島に行くことは初めて。島に住むなんてなんだかカッコイイ、いいな、と思っていたんです。笑」



住む場所も仕事も、全てゼロから。「今住んでいる五箇の方と知り合い、家と仕事の良い話を紹介してくれました。農業研修は本当にキツくて。大変さを知り、仕事としてやっていきたいという思いは無くなりました。その頃に出逢った他の移住者と、ゲストハウスの案がふと湧いて出たんです。実は元々憧れがなんとなくあつて、じゃあやってみようか、って」宿の立ち上げに動き出しつつ、岩井さんは持ち前の明るいキャラクターで、次々に人脈を広げていきました。「たくさんの人ためにめちゃくちゃお世話になりました。ご飯を食べさせてもらったり、自分のやりたいことの話を聞いて、応援してくれたり。僕は人が好きなので、じゃあ自分ができるることここでやって、隠岐に来る人を増やせたら恩返しになるかなと考えています」

←ゲストハウスのリビングには、お世話になった大工さんがプレゼントしてくれた一枚板の長テーブルがシンボリックに置かれている。

隠岐も、地元も自分にとって大切な場所だから

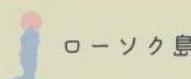
「ゆくゆくは隠岐を拠点としつつ、地元でも活動をしたいと考えています。都会でやったら埋もれてしまうことが、隠岐だとチャレンジしやすかった。この島で経験を積んで、更にさらに世界を広げていきたいと考えています。もう、他の地域に新しい住みたいとは思いませんが、自分の生まれ育った町と隠岐はどちらも僕にとって特別な場所なので、両方と繋がりながら生きていくのが僕の今の目標です」

移住に興味がある方へ

Message

暮らしのコツは、仕事にしても、人付き合いにしても、あんまり頑張りすぎないこと。地域の人と絡むことは必須ではない。もしその中に気が合う人が居たら深めれば良いんです。

隠岐の島町の観光スポットのアイコン的存在。岩の先に夕日が灯る景色は感動モノ。遊覧船で観に行けます。



移住者インタビュー
田中まにこさん

Uターン 隠岐の島町
都乃出身
イラストレーター
田中 まにこさん (32歳)

Maniko Tanaka
島出身の絵描きで、隠岐の自然や生き物の絵をテーマに描く絵が話題を呼んでいる。島のオリジナルキャラクター商品や、Tシャツといったグッズ制作にも取り組む。

島で生まれ育ったという
のは、とても特別なこと

この島は、新しい事を始め
る場所に向いているかも

生まれ育った隠岐の島町での暮らし
は、良い想い出が無かったという田
中さん。

「離島の田舎だと、限られてしまう
ことが多くて。人と違うことをした
ら目立つし。ずっと島を出たいと思
っていました」

高校から島を出て都内で暮らすと、
13年間ほぼ島に戻ることは無かった
という彼女ですが、あるきっかけで
Uターンすることに。

「当時、絵を描き始めた頃に、友達に
言われたんです。島で生まれ育った
という環境は特別なことだから、こ
れから絵を描いていくことにおいて、
メリットになることがなにかあるは
ずだって。それで、いちど島に戻って
みようかな」という気持ちになっ
たんです」

→島に戻ってから、釣りにハマったと
いう田中さん。このお気に入りの釣
り場で大物を釣ったことも。

大人になって住んでみた隠岐の
島は、子供の頃の印象とはまた違
たものがあったといいます。
「自然が美しかったり、神社があつた
り、隠岐にも良いところがあつたんだ
な、と思いました。神秘的な島のス
ポットは、絵を描く題材にもなりま
す。町が運営している、ものづくり学
校という、シェアオフィスのような場
所を借りて、アトリエにして絵を描い
たり、島内外で個展を開いたりもし
ました。狭い島なので、人が持つ
ていない技術があると、仕事のオファー
がたくさんやって来ます。都会に



100あるものが、隠岐には1つし
か無かつたりするので、人脈さえあ
れば、新しいことを始めるには良い
環境なので、と思います」



↑隠岐の巨木「岩倉の乳房杉」をイメ
ジして描いた1枚。

移住に興味がある方へ

Message

移住したとして、必ずずっと住
まなければいけないわけではない
。やらないで後悔するよ
り、やってみて次の道に行く方
がずっと良いので、住みたい
気持ちがもあるならば、ま
ずは来てみては。

隠岐の島町でしか確認されていない、固有の小型サンショウウオ。
「逆戻りの進化」を遂げている非常に珍しい生物です。

移住者インタビュー
澤井 藍さん

Iターン 奈良県出身
旅行会社勤務
澤井 藍さん (37歳)
移住歴 11年

Ai Savaai

島の旅行会社に勤務し、プラン
設計から、時には遊覧船の船
頭もこなす。仕事をきっかけに
始めた民謡は島民も唄うほど
の腕前。2児の子育て中のママ
でもある。

↓隠岐の女子旅推進プロジェクト「島娘」の
メンバーと。「仕事もプライベートも共有
できる、たけがえのない仲間たちです」



自分が好きな景色や、伝
統が残っていてほしい。
そのために観光業が必要

移住直後は、知り合った島民の方
に仕事と住まいを手配してもらい、
観光業に従事。転職を経て現在
は島の旅行会社に勤務中。「自
分の好きな島の姿が残って欲しい
から、景色とか祭りとか、そこには
光を当ててあげて、注目させる。そ
の手段が観光なんです。資源を切
り売りしなくとも、観光を使えば島
の価値を高めて外からのお金を稼
ぐことができます。隠岐の観光は
まだまだ可能性があって、島の日
常とか、深く入れば入るほど面白
くなっていく、という魅力を商品化
していくことが、今の目標です」



←長男と島ドライブ。
「休日に何をするってわけではない
けれど、ちょっとしたドライブで癒
されたり。これが、私が隠岐に来た当
初からプレていな、ここを離れられない
最大の魅力なんです」

移住に興味がある方へ

Message

島暮らしには憧れと不安があるか
と思います。当然生活コストもかかり
ます。それでも「隠岐に居たい!」
と思う理由を見つけるために、ぜひ
一度島へお越しください、みんなで
サポートします。

さざえ

もっとも有名な海産物の特産品のひとつ。箱メガネを使った「カナギ漁」という
手法も用いられている。ザザエ丼やザザエカレーも是非一度ご賞味ください。

医師としても、人間としても
気付きを与えてくれたこの島
に、感謝をしています



患者さんの距離が近いの
が、都会との大きな違い

麻醉科医として、大阪で働き続けていた助永さん。離島や田舎という限られた中で挑戦をしてみたいと思いつき、1つの選択肢として挙がったのが隠岐の島町でした。

「都会と医療環境が全然違うことに驚きました。都会にはいくつも病院があるけれど、この島には1か所しかない。この地で唯一の麻醉科医として働くことで、新しい何かが得られるだろうと感じ、移住を決意しました」



「島で感じた一番大きな違いは、患者さんとの距離が近い、ということでした。都会では、この地域の病院だ、という意識があまり無く、医者とは人相手の仕事なのだ、と気付かされたんです」

そして仕事への想いは、妻の恵里さんが島にやってきたことで、さらに大きく変わり始めます。

「単身で住んでいた頃は、地域との関りがほぼありませんでした。妻が来て、民謡や畑を始めたり、島の人々が当たり前にやっていることや楽しんでいることに触れ始めたんです。地域の文化や価値観など、病気以外のことが大切だということに気づいた助永さん。

「患者さんと、病気以外のことを話したりするんです。そうすると、一人の患者さんが人間になる。これはもう、医者冥利に尽きることです」

←妻の恵里さんと。夫婦で民謡やマラソンに挑戦したりと、地域行事にも積極的に参加するようになりました。

移住者インタビュー ①①⑤

Iターン

大阪府出身

移住歴 7年

助永 親彦さん
すけなが ちかひこさん (41歳)

Chikahiko Sakenaga

島で唯一の麻酔科医。島と本土を頻繁に行き来する多忙な日々の傍ら、離島で医療の原点を考えるイベント「オキフェス」を運営するなど、精力的に活動をしているドクター。

交通の利便性が高いのも、 永く住める大きな理由

長く住み続けている理由の一つに、交通の利便性もあるという助永さん。「空港が近いので、西郷の自宅を出て、2時間後には大阪難波でビールを飲むことだってできる。地元に住む家族からも、とても離れたところにいる、という感覚が無いんです。ものすごい田舎に住みたかったわけではないので、隠岐の島町の環境は僕自身にはちょうど良かったんだと思います」

移住に興味がある方へ

Message

ご自分が移住に求めているものを見つめつつも、気負いすぎず、まずは来てみたら良いのではと思います。そして、気に入ったら住めばいい。人との関わり方や文化、この島には都会には無いものがあります。



都会に戻れなくなっていた

永住するつもりは無かつたのに。

都会に戻れなくなっていた

移住者インタビュー ①①⑥

Iターン

兵庫県出身

移住歴 10年

山口宗男さん
やまとぐちむねお
(76歳)

令子さん
れいこ
(68歳)

Yamaguchi Munio&Reiko
定年リタイア後、都会の生活に飽きを感じ、静かなところで趣味に没頭できる場所を求めて隠岐へ移住。畑や釣りを楽しみながら、夫婦2人で島暮らしを満喫中。

元々の家に戻っても、都会の環境に馴染めなくなっていて。それなら、残りの人生は、海や畑に囲まれて暮らしていく方が良いなと思ったんです」ネット通販を使いこなすという山口夫婦、好奇心が強く何事にもめげない2人の隠岐暮らしはまだまだ続きます。



↑夫婦それぞれが好きな野菜を育てているという、広くて整った自家菜園にて。

移住に興味がある方へ

Message

好奇心が強く、めげないタイプの私たちにはとても楽しい島です！人付き合いは程よい距離感でOK。スーパーも充実しているし、ネットで何でも買えるので、都会から訪れても充分暮らせる場所ですよ。



英名「オスプレイ」の名の通り、上空でホバリングをしたのち、海に向かって急降下ダイブし魚を捕獲する。その姿は圧巻。



教えて！みんなの『移住のきっかけ』

さき ではまず、皆さんの隠岐移住のきっかけと経緯をお聞かせいただけますでしょうか。

すず 祖母が隠岐の島町在住で、幼いころから何度も訪れていました。海が好きで、より隠岐に近づきたいなと思って、大学4年生の夏に、ゲストハウスのヘルパーとして2か月



ほど滞在しました。そこで、人との繋がりがたくさんできて。その後は移住しようかどうしようかずっとずっと迷いながら、2年間くらい大阪と隠岐を行ったり来たりして、昨年ようやく移住を決意しました。

さとみ 私は小学校の教員をしていて、初任地が隠岐の島町でした。その後夫と出逢い結婚して、気付けばすっかり島民になっていました。笑

さきこ 小学生の頃に参加したキャンプで知り合った人に会うために来たのがきっかけでした。島の自然環境が気に入って、その半年後には移住していました。

えり 私のきっかけは、夫の転勤です。始めはほんの数年限りの島生活のつもりだったんですが、祖母の田舎と環境が似ている隠岐の暮らしは

どこか懐かしく感じたのか、島の生活にどんどん馴染んでいって今に至ります。

みえ 岐阜県に生まれ育ったので、海が身近にある生活にずっと憧れを持っていました。長男が水産高校への進学を希望したことをきっかけに、3人の息子と共に移住を実現したんです。今は海が目の前の家で暮らしを満喫しています。



座談会メンバーのご紹介

さとみ
島根出身 移住歴16年



島の子育てサークル「オヤトコ」を開設中。
元小学校教員で3児の母。

すず
大阪出身 移住歴1年



海に潜るのが好きすぎて、ついに漁業権を獲得。最近は家庭菜園にも挑戦中。

えり
大阪出身 移住歴4年



島で見つけた趣味は、畑での野菜作りと、隠岐民謡と、日本酒を飲むこと。

みえ
岐阜出身 移住歴3年



3人の息子を連れて移住。保存食作りや漁など、憧れの島生活を日々満喫中。

さきこ
兵庫出身 移住歴10年



カメラ・魚釣り・ランニングなどなど、島ならではの趣味を幅広く満喫中!

さき(司会)
静岡出身 移住歴6年



島で最初のゲストハウスを立てる。ノーストレインスな島生活からはもう逃れられない。

島内の神社の数は、大小含めるとなんと100か所以上といわれています。神の力が宿るパワースポットをぜひ巡ってみてください！



神社



藻塩米

島内では稲作が盛んに行われており、なかでも稲に藻塩を散布して育てるブランド米「藻塩米」は全国で話題を呼んでいます。

不便なことは 『特ない！？』

特集：移住女子5人の島暮らし座談会

さき 隠岐の暮らしで不便に思うことって何がありますか？

全員 うーん……

みえ そうですねえ・・・島の暮らしには車がみなさん生活必需品かと思うんですが、土日に車屋さんがお休みだと困ったりしませんか？

すず 故障とかですか？けど、そんなときって大抵、知り合いか通りがかりの人が助けてくれたりしません？

えり そうかも。謎に職業以外の技術を持つてる人多いよね。車の整備とか、配管とか。

みえ 自分でやらないと生きていけないから、できるようになっていくんだ、島民は。

すず そして、その技術を持った人と繋がってさえいれば、生きていける。笑

さとみ 不便を不便と思わないとい



うか。台風前の対策とか、始めはどうしよう！とか思っていたけれど、今ではもう「外の荷物を片付けて、雨戸を閉めて…と、どんどん手際よくなつていったなー。笑

えり その環境に適応していくことですよね。週末前にお金おろしておこう、ガソリンいれておこう、とか。雪道の運転も慣れたらし、無いものは仕方ないし！

みえ あと、コンビニがなくても全く不便しませんよね。スーパーもかなり充実しているし、ホームセンターもドラッグストアもある。



さき あのスーパーはもう「都会か！」って感じですよね、非常に便利。観光で来る人も、隠岐ってもっと何もないところだと思って来る方が多いようです。それでいて、中心部を少し離れば大自然の環境があるという、こういう離島ってなかなか無いんじゃないでしょうか。



すよね。笑 そのお返しに、力仕事を手伝ったり、できる範囲で地域活動に参加したりしています。

さきこ 私は住んでいる地域には全然入っていないけれど、趣味の釣りの場に知り合いがたくさんできた。女だからできないだろうと思って、しきけを全部セットしてくれたり、釣れた魚をくれたり。

さとみ 私のところは子供が小さい

ので、近所の方が何かと気にかけてくれて。それをきっかけに地域での付き合いが広がっていったかな。

さき 子供が少ないからか、子連れで歩いているといろいろな人が声をかけてくれますよね。

えり 私は西郷という中心部に住んでいるので、近所づきあいは全然無いんです。だから、繋がりを求めて郡部に進出しています。畑づくりとか、民謡をきっかけにして、すっかり居心地が良くなっています。今では中村地区に入り浸っています。

すず 釣りしたり海に潜ったり、隠岐の人にとって当たり前なことを楽しんでいると「お前はそんなことが楽しいのか？」と言しながら面白がって応援してくれます。

さとみ 人との繋がりが好きっていう人は暮らしやすいと思うな。自給自足もできなくはないけど、人と関わってこそ隠岐暮らしの醍醐味。

移住女子からの 『島暮らしの心得』か条』

一、柔軟に適応していく！

島の環境を不便と思うも思わないも自分次第。
慣れてしまえばこちらのもの。

二、人間関係は持ちつ持たれつ！

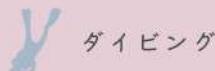
世話好き多い隠岐の島町民。甘えられるところは甘えて、自分ができる範囲でお返しをしましょう。

三、自分なりに満喫しよう！

まずは自分自身が暮らしを楽しみましょう。あなたならではの隠岐の魅力をぜひ見つけてください。



ダイビングセンターがあり、ダイビングを楽しむこともおすすめ。日本海ならではの生き物や、大型の魚の群れに出逢えることも。



透き通った海の上を進むシーカヤックは、洞窟探検やジオパークの大自然の魅力も満喫できる人気のアクティビティ。

暮らしのお役立ち情報

移住体験ツアー

島の暮らしお試し体験ツアー

移住希望の方に釣り・マリンスポーツを含めた島ならではの暮らしを体験いただける2泊3日のツアーをご用意しています。

島の暮らしお試し体験ツアー



お仕事

公共職業安定所

UIターン希望の方にお仕事に関する相談や町内の求人情報をご紹介します。
隠岐の島町HPに1カ月ごとに最新求人情報を公開中。

雇用支援 隠岐の島町



UIターン産業体験事業

島根県へのUターン・Iターンを促進するため、県外在住者が県内受入先で一定期間、農林漁業、伝統工芸、介護の産業体験を行う場合に、滞在に要する経費の一部を助成する事業です。隠岐の島町内にも体験受け入れ先事業所有。

助成額:12万円/月 助成期間:3ヶ月~1年

お問い合わせ

TEL:0852-28-0690 (ふるさと島根定住財団UIターン推進課)

隠岐の島町地域農業再生協議会(新規就農)

農業の担い手育成部会が、就農に興味のある方のご相談に応じます。

お問い合わせ

TEL:08512-2-8563 (隠岐の島町農林水産課)

隠岐の島町地域おこし協力隊・集落支援員随時募集中!

隠岐の島町では、町内で地域おこし協力隊・集落支援員として勤務していただく方を随時募集しています。募集状況は下記サイトからご覧ください。

隠岐の島町地域おこし協力隊



オキノウサギ

島の固有種。島内の人間を除く陸上の哺乳類では最大の生き物。
つまり、畠を荒らす害獣はほとんど居ないのです。

民間福祉施設職員就労支援助成金

町内の民間福祉施設に看護師・介護福祉士・保育士として就職された

新規卒業者及びU・Iターンの方に対し就労支援金(2万円/月、最長3年間)をご用意しています。

お問い合わせ

TEL:08512-2-8561 (隠岐の島町福祉課)

住まい

①お試し滞在施設

50歳未満の定住を検討中の方に、お試し滞在施設を2戸準備しています。

<使用期限>1ヶ月以内 <使用料>21,000円/月～30,000円/月 ※光热水費込み。家電完備。

②お試し集合住宅

UIターン希望の方向けに、県職員宿舎を活用した短期(1年間)滞在可能な住宅をご用意します。

<家賃>16,630円～ <利用期間>最大1年※各年3月末までに退去いただく必要があります。

<間取り>3DK

③UIターン定住希望者向け住宅

50歳未満の定住を検討中の方に、UIターン定住希望者向け住宅をご用意しております。

(1) 民間賃貸住宅2棟13室(家賃5万5千円～)→町が管理する民間賃貸住宅(アパート)

(2) 定住促進住宅4棟4室(家賃2万円～)→町が空家を借上げて管理する民間賃貸住宅(一戸建て)

(3) UIターン促進住宅6棟7室(家賃8千円～、利用期間3年以内)

④公営住宅

町内には、県営住宅86戸、公営住宅272戸があります。入居に関しては下記にご相談ください。

⑤空家情報

町内の空き家所有者から空家バンク物件として申し込みを受けた賃貸・売買物件の情報を町のホームページにて掲載し、U・Iターン希望者等にご紹介しています。

お問い合わせ

①、③、④について TEL:08512-3-1350 (県住宅供給公社隠岐住宅管理事務所)

②、⑤について TEL:08512-2-8570 (隠岐の島町地域振興課)



トビウオのこと。6～7月に漁が盛んになり、特産品「アゴだし」などに加工販売されます。新鮮なものはお刺身でいただくことも。

子育て・学校

保育料軽減

3歳以上の第1子及び第2子以降の保育料無料(第1子も国基準の半額)。3歳以上児の副食費が無料となっています。

子ども等医療費助成制度

0歳から中学校卒業までの医療費を軽減します。
(上限額 外来1,000円 入院2,000円) 薬代:無料
※上限額は同じ月、同じ医療機関当たりの額

お問い合わせ

TEL:08512-2-8560(隠岐の島町民課)

しまね留学

町外に在住の中学生が、町内の高校に入学し、かつ高校寄宿舎へ入寮している生徒等を対象として寮費に対して助成します。

①<高校寮費補助>5,000円/月

町内の高校にオープンスクールや学校見学を行う生徒保護者の旅費等に対しての助成も行っています。

②<高校生賃貸住宅家賃補助>20,000円/月、補助率2/3※在学期間中の補助となります。

③<高校オープンスクール参加費補助>上限 20,000円

お問い合わせ

①、③について TEL:08512-2-1181(島根県立隠岐高等学校)
②について TEL:08512-2-1526(島根県立隠岐水産高等学校)
TEL:08512-2-8570(隠岐の島町役場地域振興課)

Uターン・定住支援制度

ふるさと定住奨励金

Uターンにより町内に居住された方に奨励金を交付しています。

※対象者 50歳未満のUターン者※転入から180日以内

※助成金額 1世帯5万円(最大25万円)※夫婦世帯加算10万円、子育て世帯加算10万円

渡航支援(航空路旅客運賃低廉化事業)

隠岐の島町に居住している方は下記割引料金で船、飛行機にお乗りいただけます。

※要助成対象者証明書(役場で発行)

※割引後料金:片道

フェリー2等:1,420円 高速船:3,020円※ 小人料金、往復割引等あり

飛行機 隠岐 ⇄ 島根(出雲):5,600円

牛突き

隠岐へ島流しとなった後鳥羽上皇をお慰めするために始められたといわれている。巨体の雄牛同士がぶつかり合う大迫力の牛突きは、島が誇る伝承です。

結婚祝い金

若者の定住促進と未婚者の結婚を奨励するため、町内において婚姻された方に祝い金を交付します。

※対象者 ご夫婦共に50歳未満の方 ※助成金額 1組10万円

Uターン促進事業補助金

Uターン者を対象とした、自宅等の改修費補助と賃貸物件の家賃補助があります。

①自宅等改修補助

※対象者 転入日から起算して3年以内に自宅等の改修を行うUターン者

転入日から起算して5年以内に自宅等の改修を行うUターン者

転入日から起算して1年以内に自宅等の改修を行う学生等

※助成額 限度額50万円(最大100万円) 補助率2/3

※夫婦世帯加算25万円、子育て世帯加算25万円

②民間賃貸住宅家賃補助

※対象者 Uターン者で、50歳未満の方

※助成額 限度額2万円/月 補助率2/3 ※子育て世帯加算1万円/月(交付決定日~1年間)

わくわく島根生活実現支援事業

東京圏から島根県に移住される方へ、最大100万円(単身世帯:60万円)の支援をしています。

お問い合わせ

TEL:08512-2-8570(隠岐の島町地域振興課)

起業支援制度

地域商業等支援事業費補助金

町内で新規開業又は事業承継を予定している方に対し、初期費用を補助します。

※補助対象経費・補助率・限度額

改修費、備品購入費、備品リース料、広告宣伝費・1/2・50万円~最大100万円
家賃・1/2・4万円~8万円/月

お問い合わせ

TEL:08512-2-8575(隠岐の島町商工観光課)

店舗等改善事業費補助金

現在事業を行っている店舗等の、クレジット決済端末の導入、トイレ改修(洋式化)、Wi-Fi設置の費用を補助します。

※補助対象経費・補助率・限度額

キャッシュレス決済端末設置費・2/3・10万円 トイレ改修(洋式化)・2/3・60万円

無線LAN機器(Wi-Fi)設置費・2/3・宿泊業:30万円、その他業種:5万円

お問い合わせ

TEL:08512-2-8575(隠岐の島町商工観光課)



毎年夏に、島の有志によって花火大会が開催されます。
海から上がり、間近で観ることのできる花火は隠岐ならではです。

暮らしに役立つQ&A



Q 車の免許は必要?

島の暮らしを100%満喫するには
必要です。

ガソリンの平均価格は、レギュラー142円/l (2019年7月30日時点)
※東京とほぼ変わりません。

Q インターネット環境は 整備されているの?

島内全域で光インターネット接続サービス
をご利用いただけます。

そのほか、居住圏においてスマートフォンは問題なくご利用いただけます。
※山間部は電波が弱くなる箇所がございます。
※ご家庭の光ファイバー接続屋外工事に約7万円必要です(宅内工事費別途)



Q 飛行機でアクセスできるの?

大阪(伊丹)、島根(出雲)から
毎日それぞれ一往復しています。

大阪(伊丹)空港から50分
島根(出雲)空港から30分で結ばれています。
島根(出雲)空港便には島民割(片道料金5,600円)有。



Q 買い物する場所はあるの?

ショッピングセンター、ドラッグストア、
家電量販店、ホームセンター等があります。



インターネットショッピングも問題なくご利用いただけます。



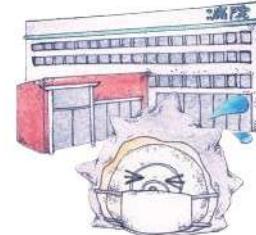
海釣り

島内各地に釣りスポットがあり、また釣り人の聖地としても有名です。
夕方の波止場には、お夕飯のアジ釣りをする島民がたくさん現れます。

Q 子育てできる環境はあるの?

保育所、小学校、中学校、
高等学校が島内にあります。

医療費軽減制度(通院上限1,000円、入院上限2,000円)(※R2.10月～無料)
薬代無料、中学卒業まで)や高校寮費・賃貸住宅家賃助成、
保育料も3歳以上児第1子及び第2子以降が無料となるなど
充実しております。



Q 病院の機能は充実しているの?

手術、出産の際に安心して
ご利用いただける総合病院があります。

そのほか、各地域の診療所や歯科医院なども充実しております。

Q コンビニ払いはできるの?

ショッピングセンターで
ご利用いただけます。

島内の一部の大型ショッピングセンターでご利用いただけます。



Q 外食はできるの?

様々な種類の飲食店がございます。



和食、洋食、カフェ、居酒屋など
島内に様々な種類の飲食店が50店舗あまりございます。
(2019年4月現在)



フェリー

「おき」「くにが」「しらしま」の3艇が本土と島前、島後間を
結んでいます。別れのテープカットが行われることもしばしば。